



**K.A.S** 海老名市自閉症児・者親の会 会報

# やまびこ

第46号

編集：海老名市自閉症児・者親の会 <http://ebinayamabiko.server-shared.com/>  
会長 長谷利江

定価 5円 年2回発行



# TOPICS

## 海老名市に要望書を提出！！

8月27日、海老名市へ要望書を提出いたしました。  
今年度は、

1. グループホームでの生活について
2. 相談支援体制について
3. 余暇活動について

の3点について、自閉症児者の生活の質が向上するために必要と思われることについて要望させていただきました。要望書の内容、海老名市からの回答につきましては、後日、会員の皆様にお知らせいたします。

## 海老名市より感謝状！！

11月1日の海老名市市制施行50周年記念式典において、当会の活動に対し、市より感謝状をいただきました。

長年にわたり、当会の活動にご尽力いただいた諸先輩方と会員の皆様のご協力の賜物と思えます。あらためて御礼申し上げます。



## ハローワーク厚木☆えびな障害者就職面接会開催！！

ハローワーク厚木・神奈川労働局主催、海老名市自立支援協議会「チーム働く」協力にて、障害者向けの就職面接会が開催されます。

日時：2021年12月10日（金）13：00～16：15

会場：海老名市役所 702・703 会議室

持ち物：履歴書等応募書類 障害者手帳

問い合わせ：ハローワーク厚木 専門援助部門

046-296-8609（部門コード：45#）

☆完全予約制です。

## HFA 部会・勉強会

## 『ひとり暮らしを支える仕組みについて学ぶ』

## ～日常生活自立支援事業と成年後見制度について～

7月8日、海老名市社会福祉協議会より、藤沢様（海老名あんしんセンター）と石川様（えびな成年後見・総合相談センター）を講師にお迎えして、日常生活自立支援事業と成年後見制度についての勉強会を開催しました。

日常生活自立支援事業は、福祉サービスの利用援助や手続き、預貯金の出し入れや各種支払い等の日常的な金銭管理、大事な契約書・証書・実印など預かり等の支援を受けられる制度で、社会福祉協議会の「海老名あんしんセンター」がこの事業を行っているとのことでした。

利用できる対象者の条件として、障がい者の場合、「判断能力が不十分でかつ契約やサービス内容の理解ができる方」ということがあり、この制度自体は、誰でも気軽に利用できるというものではないようですが、利用できれば非常に心強い支援だと思いました。利用できない場合には、他に利用できるサービスを探して紹介して下さるような努力もされているようです。また、利用者の中には、成年後見制度に移行されるケースもあるとのことでした。

成年後見制度（法定後見）については、後見人に任せる手続きの内容を選択でき、大きく分けると、補助（本人同意のもと重要な財産行為だけ）・保佐（本人の同意不要で重要な財産行為だけ）・後見（本人の同意不要で日常的な買い物等から重要な手続きまで）の段階があるとのことでした。制度の利用には、メリットとデメリットがあり、メリットが大きいと考えられる場合に利用するのが良いというお話でした。

いろいろある制度やサービスを我が子が利用できるのかどうか、情報収集をして選択肢を広げていければと思います。

(K)



## 学齢期向け懇談会 ～ 先輩の体験を聴く ～

7月16日、わかば会館にて、学齢期の会員向けの懇談会を開催いたしました。

主として、現在お子さんが大学生となった会員の方のお話を伺い、その後、参加者からの質問に答えていただきました。また、小中学生のお子さんの現況について報告してもらったり、それに対し先輩会員が経験を話したりなど、様々な形で情報交換をいたしました。

会員の皆さんそれぞれが、いくつもの壁にぶち当たりながらも、その時々に一所懸命に考え、悩み、そして何よりも子ども自身の気持ちに寄り添って過ごしてきた様子が伝わり、とても胸が熱くなりました。

親だからといって、何もかもを一人で抱えていくのには限界があります。今ある支援を上手に活用しながら、時には腹を据えて既成概念と戦う…毎日手探りしながらの子育てにおいて、支えあう仲間の存在は大きな力になります。

これからも、皆さんで親の会の繋がりを大事にしていけたらと思います。

### 《参加者の感想》

・今回初参加でしたが、学齢期のお子さんにまつわる様々な経験を伺えて、大変勉強になりました。我が子は小4で、その将来についてはまだ漠然としたイメージしかありませんでしたが、経験を共有していただけたことで、以前より具体的なイメージを持てるようになってきた気がします。我が子にどんな人生を歩んでほしいか、そして本人はどうしたいか、(他者の協力を得ながら)自分自身で生活・生計をたてられるように就労を見越して…。この先さまざまな選択が求められますが、引き続き、先輩方のアドバイスを支えに、我が子にとってより良い選択をしていきたいと思いました。(S)

・本人の気持ちに寄り添って高校や大学等の進学を決めていらして感心しました。子供を信じてあげる事が大切なんだなと感じました。

我が子の進路、支援学校卒業後を決める時に子供の気持ちにどう寄り添って決めていくのか考えたいと思いました。(T)

・小4の息子のこの先の進路に漠然とした不安があり、見学など情報をどう集めるか悩んでいるところでしたので、色々なお子さんのリアルな進路選択のお話が聞けて良かったです。

実際に私も色々な学校を見学して、息子にあった学校を見つけられたら良いなと思いました。(K)

## ☆母の想い

グループホームに入居されてるお子さんについて伺いました。☆

## 将来に向けて「オジサンの暮らし」

息子三十三歳。療育手帳 A1, 障害区分 5 でこだわりの強いオジサンです。

養護学校高等部卒業後、二つの生活介護事業所を経て、現在は自閉症スペクトラムを中心とした重度知的障害者を対象とした生活介護事業所へ通い、仕事が終わった後はグループホームで（月二回は週末帰宅）過ごしています。

2016年社会福祉法人のグループホーム設立と同時に入居しました。姉一人妹二人も二十歳を過ぎた頃から独立し家を出て生活を始めたので、本人も「大人になったら家を出て違う家で過ごす」と思っていたようです。小学校低学年で初めて参加した親の会の母子分離のキャンプで若いボーイスカウトのボランティアさんと仲睦ましく（親が妬けるくらい）過ごしている姿を見て、この子は一生親と一緒になければ過ごせないと半ば諦めていた母の胸に、否、この子は将来親から離れても幸せに暮らしていくのが当たり前だと希望が持てました。それから積極的にキャンプやバスハイク、旅行、サンデーレク（県連役員会の際の役員特権の日帰り外出）、山歩きの会等、全て一対一でボランティアさんがついて過ごす体験を数多く積んできました。トラブルも相当ありましたが（ボラさん、ごめんなさい）、親以外の人と過ごす体験は本人にとって本当に貴重でしたし楽しかったようで、今では年老いた煩い親と出掛ける際は離れて歩きます。（三十歳を過ぎたオジサンが親とべったりは可笑しいですよ）

二十歳を過ぎた頃から新たに近所に設立されたグループホームに体験枠が出来たのでこちらも体験させてみました。ボラさんとのお泊りは数多く体験済みだったので初めてのホームでも問題もなく過ごせ定期的に（月1回）利用し、また宿泊日数も増やしていきました。いざ本格的に入居を考えた時に「入居の際に受け入れる側の一番の決め手は？」とグループホームの支援員に尋ねたところ、「本人が入居を望んでいるか（納得しているか）」とのことでした。親がいくら入居を希望しても本人にその気がなければ難しいということです。いきなり家以外での生活を強いられれば「親から捨てられた！」と本人にとっても辛いことでしょう。その為には先の見通しをつけて幼いころから体験を積んでいくことではないでしょうか。

息子はあっけないくらいすんなり入居しました（母は成長を思うと同時に寂しさで涙したのに）。その後もホームでの生活において自傷他害や破壊行為、溢れる物の管理とトラブルは満載です。それでもグループホームは本人にとって自分の居場所であり、安心して過ごす場であることには変わりはありません。そ

の為にはどうしたら本人が満足できる生活を送れるかを支援者の皆さんと試行錯誤しています。本人は今後もマイペースにこだわりの生活を続けていくことでしょう。それでいいかな(^\_^♪ (S)



## グループホームへの入居は思いがけない事の連続

息子のグループホームへの入居は、私が思っていたよりもずっと早く、突然決まったような感じでした。きっかけは自宅のすぐ近くに新しいホームが開所したことでした。

そもそも息子の障がいの程度から、将来の生活の場として、グループホームをイメージしたことがあまりなく、準備のような経験もほとんどさせて来ていませんでした。それに修学旅行や短期入所で二泊したことがある程度、それ以上の連泊経験のないまま、体験入居をすることになりました。

どうなるか？関係する人みんながやってみなければわからない、と不安いっぱいと思う中、息子はすんなりホームに馴染んでしまいました。が！すんなりと言うより遠慮が無さ過ぎ、やりたい放題。「この事態はなぜ？」と考えているうちに、「ホームの責任者の方がちょっと祖母と似てる？」祖母の家はお弁当屋さんで、ホームの世話人さんたちと同世代の女性たちが厨房で働いている。「それとホームのキッチンでの様子を重ねてしまった？」「最近はあまり祖母の家に行っていなかったもので、よく訪れていた小さい頃の自分のように息子はふるまっている？」そんな思いがけない原因に行きつきました。

入居後も本当に予想もしなかった様々な珍行動をいくつもしてきて現在に至りますが、ひとつひとつ、ホームの方と相談しながら、焦らず、時間をかけて解決していくようにしています。若い息子の生活は、まだまだ先は長いです。焦らず、一緒に考えながら対応して下さっているホームの方々に感謝しながら、穏やかに過ごせることを願う毎日です。 (S)

## 息子がグループホームに入居して

息子は今年の一月に社会福祉法人星谷会のグループホーム（以下 GH）ほたるへ入居しました。ほたるは、知的障がいのある男性7名が世話人さんと一緒に生活しています。平日は夜勤の世話人さんと夕食作りの方、休日は日勤と夜勤の世話人さんがいます。

息子は養護学校を卒業して5年目。クリーニング工場で一日6時間働いています。一人っ子なので早い時期に独立させなければと思っていました。感覚的・抽象的な事の理解が難しく、服装や寝具・エアコン設定について毎日聞いてくるので、相談に乗ってもらえる世話人さんのいる GH が良いのではと考えていました。これまで3年ほど星谷会の GH 宿泊体験や短期入所を利用していました。宿泊体験の申込書には、将来入居を考えていると書いておきました。父母の具合が悪くなった時には宿泊することになるからと、息子にことあるごとに伝えていました。

昨年の秋、GH の入居募集の連絡がきました。卒業した養護学校の分教室の隣駅の近くで、通勤は少し練習すれば出来そうだと思います。建築途中で見学は出来ませんでしたが、希望者も多いのでとりあえず申し込みました。息子は、別の GH へ入居している友達に、どんな風に過ごしているのかと自分なりに質問をしていました。その後入居者に選ばれたと連絡がありました。私の想像よりも早い旅立ちとなり複雑な気持ちでしたが、息子が『俺も GH に住んでみる』と言ったので、入居を決めました。

GH は今年一月に開所し、中学の後輩や習い事の先輩も入居され、息子は心強かったようです。でも入居して3か月頃顎が痛くなり受診しました。緊張して無意識に歯を噛いしばっていたようです。深呼吸して力を抜く方法を世話人さんに教えて頂きました。息子はいろいろと世話人さんに質問しているようですが、実家にもたまたま電話が掛かってきます。困っていることに自分で気付けない時があり、思ったことを言葉にして伝えるのも苦手なので、代わりに絵や手紙を書いて持たせたり、一つ物が増えるとどこにしまって良いか分からないので引き出しに印をつけたり、時にはほたるへお邪魔したりして少しずつ解決しています。お金の管理・通院・余暇はまだ父母が支援していますが、徐々にお問い合わせ、本人を支えて頂けたらと思います。今は週末実家へ戻ります。GH に戻る時は見送る寂しさがありますが、年が明けたら1年経ちます。息子のいない生活にも慣れて、私の気持ちも落ち着いてきたところです。(W)

## 活動報告 5/16～11/15

5/20 6/18 7/20 9/24 10/22 11/12 定例会（9～10月はオンライン開催）  
11/15 会報発行  
8/27 市へ要望書提出 6/4 プリズム座談会  
7/8 HFA 部会・勉強会「ひとり暮らしを支える仕組みについて学ぶ」  
7/16 学齢期向け懇談会  
6/11 8/20 9/10 10/15 オンライン・ヨガ教室  
7/20 県協会広報・総会報告印刷 11/12 会報・県協会広報印刷

### 自立支援協議会

6/23 10/18（書面開催）本会議 6/28 障害者差別解消支援地域協議会  
7/28 10/11 チーム「働く」 8/3 10/26 チーム「育つ・学ぶ」  
8/18（書面開催） 11/5 チーム「まもる・つながる」

### 障害者団体連合会

5/19 会計監査 5/24 総会 7/26 役員会 8/25 要望書提出  
6/11 7/2 9/3 10/1 11/5 ふれあい交流会打ち合わせ  
11/7 ふれあい交流会①

6/17 7/15 8/19 市民まつり実行委員会

### こころのバリアフリー

6/23 10/19 11/15 実行委員会

### 7/29 結夢運営推進委員会

10/15 障がい福祉関係団体と市長との懇談会

11/1 海老名市市制施行50周年記念式典

\*K.T.S.障がい相談窓口水曜日担当 7/21 9/15 打ち合わせ

### 【県協会】

6/12 総会・総会記念 ZOOM 講演会

「その子らしさを生かす子育て～発達の特徴から考えましょう～」

講師：吉田友子氏

7/11 9/26 (ZOOM) 役員会 6/3 7/2 9/23 執行会議 (ZOOM)

7/15 11/15 広報発行

6/26 日本自閉症協会総会署名人参加

7/8 神奈川新聞厚生文化事業団訪問（作品展後援依頼）

7/17 日本自閉症協会地区代表者会議 (ZOOM)

5/21 6/4 7/5 11/1 要望書検討委員会 8/27 県要望書提出（郵送）





- 10/13 父母連要望書懇談会 11/11 県要望書懇談会 (ZOOM)  
7/28 中井やまゆり園懇談会に向けた打ち合わせ (ZOOM)  
7/30 11/2 中井やまゆり園懇談会  
8/7 県の当事者目線の障がい者福祉の推進に係る障がい者支援団体を対象としたヒアリング  
9/18～9/19 自閉症療育者のためのトレーニングセミナー・ダイジェスト  
(10/1～10/10 見逃し配信)

### 活動予定 11/16～5/15

\* 毎月 25 日ごろに連絡網を回します。メールの方は忘れずにチェックしてください。

- 1/ 2/ 定例会 12/10 3/ 役員会 1/ 新年会 4/ 総会 5/15 会報発行  
1/ プリズム座談会 11/19 12/17 1/14 2/18 3/18 オンライン・ヨガ教室

#### 自立支援協議会

- 12/10 チーム「働く」ハローワーク厚木えびな障害者就職面接会  
1/14 チーム「まもる・つながる」 2/4 本会議

#### 障害者団体連合会

- 12/19 ふれあい交流会②

#### こころのバリアフリー

- 12/4 講演会「コロナ危機を生き抜くための心のワクチン～全盲弁護士の知恵と言葉～」 講師：大胡田誠氏  
12/3～12/9 障害者週間パネル展示  
1/21 3/16 実行委員会

- 12/2 年末たすけあい募金・街頭募金活動



#### 【県協会】

- 11/17 AS-pace 勉強会「日常生活自立支援事業について」  
12/12 3/6 4/10 役員会 3/15 広報発行 12/4 父母連福祉促進大会

**事務局より**

☆賛助会員 〇〇〇〇様 〇〇〇〇様 〇〇〇〇様 〇〇〇〇様  
 〇〇〇〇子様 〇〇〇〇様 〇〇〇〇様

☆入会 1名 ☆会員数 32名 (2021年11月現在)

**会計より**

<正会員> 今年度で退会を希望される方は、**2月末までに長谷までご連絡**ください。**2022年度年会費(6,000円)**は下記口座へ**3月末日まで**にお振込みください。

<賛助会員> ご理解、ご支援ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願ひ致します。**3月末日までに2022年度年会費(2,000円)**を下記口座までお振込みください。

## ●振込先●

ゆうちょ銀行からお振込みされる場合	ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振込みされる場合
記号： 10250 番号： 83032311 加入者名： 海老名市自閉症児・者親の会	金融機関名： ゆうちょ銀行 銀行店名： 〇二八(ゼロニハチ) 店番： 028 口座番号： 普通預金 8303231 加入者名： 海老名市自閉症児・者親の会

※振込控を領収書とさせていただきます。

※現金集金は総会にてのみお受けします

**会員・賛助会員募集中!**

海老名市自閉症児・者親の会(海老名やまびこ)は海老名市在住の未就学児から成人までの自閉症スペクトラムの子どもを持つ親の会です。「子ども達の権利と幸福の為、療育、教育、福祉、労働、研究の充実を図る運動や活動」を地道にですが積み上げていきたいと思っております。

入会またはバックアップしてくださる方を募集しております。お気軽にお問い合わせください。

HP <http://ebinayamabiko.server-shared.com/>

会長 長谷

☆会員、賛助会員の方には会報をお届けします。

**編集後記**

先日ふと、息子が小さい頃毎日言っていた言葉(単語)を思い出しました。その中で1つだけどうしても聞き取れない言葉があったのですが、なぜか20年以上も経った今になってわかりました。早速、子ども達に報告。なんで当時わからなかったかとは思いますが、すっきりしました。(K)